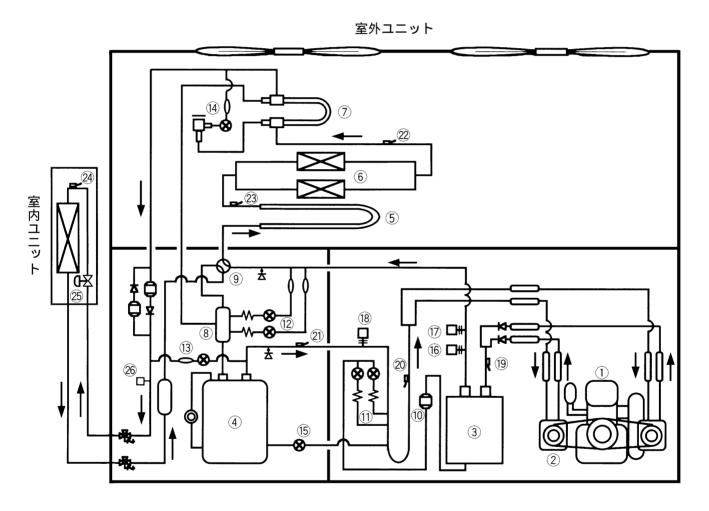
1.10 冷媒配管系統図

(1) GHCJ(P)224HM4A, 224HMT4A, 224HMT4A-C 280HM4A, 280HMT4A, 280HMT4A-C

(a) 冷房運転

圧縮機を出た高温,高圧の冷媒ガスは,オイルセパレータ,四方切換弁を通過した後,室外空気熱交換器 へ導かれ,外気により熱を奪われ凝縮し,更に過冷却コイルにより冷媒液は過冷却状態となります。この冷 媒液は室内ユニットの電子膨張弁で減圧され,室内空気熱交換器で蒸発します。この時,室内の熱を奪い気 化し室外ユニットに戻り四方切換弁,アキュムレータを経て圧縮機へ戻ります。



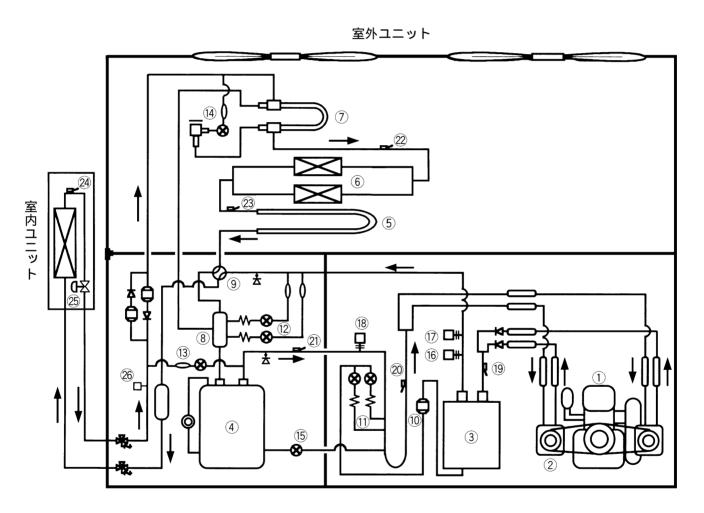
- ① エンジン
- ② 圧縮機
- ③ オイルセパレータ
- ④ アキュムレータ
- ⑤ 二重管熱交換器
- ⑥ 室外熱交換器
- ⑦ 過冷却熱交換器
- ⑧ ストレーナ
- ⑨ 四方切換弁
- ⑩ ドライヤフィルタ
- ① オイルバイパス弁
- ① ホットガスバイパス弁 ① 吐出温度センサ
- ③ 液インジェクション弁 ② 吸入温度センサ
- 14 過冷却弁

- 15 液もどし弁
- 16 高圧スイッチ
- ⑪ 高圧センサ
- 18 低圧センサ

- ② アキュムレータ出口温度センサ
- ② 室外熱交液側温度センサ
- ② 室外熱交ガス側温度センサ
- 24 室内熱交センサ
- ② 室内ユニット電子膨張弁
- 26 溶栓

(b) 暖房運転

圧縮機を出た高温・高圧の冷媒ガスはオイルセパレータ、四方切換弁を通過した後、室内熱交換器で室内 へ熱を放出し凝縮・液化します。その後,室内ユニットの電子膨張弁で一時減圧された冷媒は,配管を通り, 室外熱交換の過冷却コイルで冷却され液状態となります。この冷媒液は室外ユニットのしぼりで減圧され気 液混合冷媒(液が多い)となり室外空気熱交換器で外気より熱を吸収し,さらに二重管熱交換器でエンジン 排熱より熱を吸収し、気化します。気化した冷媒は、四方切換弁、アキュムレータを経て圧縮機へ戻ります。



- ① エンジン
- ② 圧縮機
- ③ オイルセパレータ
- ④ アキュムレータ
- ⑤ 二重管熱交換器
- ⑥ 室外熱交換器
- ⑦ 過冷却熱交換器
- ⑧ ストレーナ
- 9 四方切換弁
- ⑩ ドライヤフィルタ
- ① オイルバイパス弁
- ① ホットガスバイパス弁 ① 吐出温度センサ
- ③ 液インジェクション弁
- 14 過冷却弁

- 15 液もどし弁
- 16 高圧スイッチ
- ⑪ 高圧センサ
- 18 低圧センサ
- ② 吸入温度センサ
- ② アキュムレータ出口温度センサ
- ② 室外熱交液側温度センサ
- ② 室外熱交ガス側温度センサ
- 24 室内熱交センサ
- ② 室内ユニット電子膨張弁
- 26 溶栓